

令和7年度 江東区立第六砂町小学校 自己評価表

校長名 日下部 和彦

目標に向けた取組についての自己評価

重点領域1		学力の向上(指導力の向上を基盤として)			
項目	努力指標(教師側)	達成度	成果指標(こども側)	達成度	評語
1	・本時のめあてを達成できた、適用問題で確認する。 ・国算体英のスタンダードの内容を100%実施する。 ・漢字力、計算力、ICT活用力の定着を図る	85	学習の振り返りで、「毎時間のめあてが達成できた」と自己評価する児童を90%以上にする。	93	B
2	学び方スタンダードを100%実施する。	80	「学び方スタンダードを守って学習している」と答える児童を95%以上にする。	82	B
3	・個々の考えを引き出す授業を行う。 ・個々の考えを少人数で交換する授業を行う。	90	「授業はわかりやすくて楽しい」と答える児童を95%以上にする。	90	A
<p><結果についての分析と改善策></p> <p>ペーパーテストにて知識や技能を表現する力が十分でない。児童の評価をペーパーテストのみで判断はできないものの、可視化されやすい部分の力の育成においても策をもって対応したい。</p> <p>具体的には、1漢字力、計算力を高めるためのドリルパークの活用を充実させる。(個別最適化) 2学び方スタンダードに関する授業観察視点を明示して日々の校内巡視、授業観察を行う。 3六砂UDスタイルの「共有化」の具体例を集めて、校内で活用する。</p>					

重点領域2		豊かな心の育成(指導者が範を示す)			
項目	努力指標(教師側)	達成度	成果指標(こども側)	達成度	評語
1	・朝は玄関や教室で児童を迎え、一人一人とあいさつをする。年間を通じてあいさつに重点を置き、各学級で取り組む。	90	・「進んであいさつをする」と回答する児童を90%以上にする。	84	B
2	・道徳授業は「他の人とかかわりに重点を置き、計画的に指導する。 ・特別活動のねらいを明確にし、学年・学級・縦割り班の中でお互いの良さを認め合えるようにする。	90	・「思いやりをもって行動している」と答える児童を95%以上にする。	90	A
3	・「へんじ・あいさつ・くつならべ」 「時を守り、場を清め、礼を正す」を率先垂範する。	90	・「毎日の学級での生活は楽しい」と答える児童を95%以上にする。	85	B
<p><結果についての分析と改善策></p> <p>1・2・3に共通して、児童全体への投げかけは成果を上げていると感じている。「進んで挨拶している」「思いやりを持って行動している」「学校の生活は楽しい」と、こどもが自己評価できるような成果の意識化をするために、校長講話や児童向けのクラスルームメッセージで具体的にほめる。</p>					

<様式1>

重点領域3		健康・体力の向上(運動時間の確保を基盤にする)			
項目	努力指標(教師側)	達成度	成果指標(こども側)	達成度	評語
1	・体育の授業では学習カード等を活用し、自己のめあてをもたせ、伸びを実感できる授業を行う。 ・休み時間の外遊びを励行し、学級外遊びの時間を定期的に設定する。 ・体力向上週間で、縄跳びやペースランニングなどの目標を設定して行う。	85	・「すすんで外遊びや運動をしている」と回答する児童を90%以上にする。 ・長縄チャレンジの目標を達成する学級が、90%以上。	84	B
2	健康教育(保健・食育)にかかる授業を全学級で実施し、家庭と連携して日常化を図る。	85	・「早寝・早起き・朝ごはんを守っていると回答する児童を95%以上にする。	78	B
3	避難訓練(毎月)交通安全教室、セーフティー教室、防災教室時には、めあてをもたせて実施し、振り返りを行う。	95	・「地震や交通事故、不審者やSNSの被害から身を守る方法が分かり、気を付けている」と回答する児童を100%にする。	90	A
<p><結果についての分析と改善策></p> <p>1 「進んで外遊び」は、さらに投げかけをして、教員と一緒に遊ぶように促すとともに、遊びの様子を積極的に児童にフィードバックして価値づける。</p> <p>2 学校だよりや家庭向けの各種通知等で児童の生活リズムの大切さについて、具体的な体験談や手立てを示しながら発信する。</p> <p>3 こどもの安全・安心を一番に考えていることを、校長が先頭に立って全職員で日々示す。</p>					

重点領域4		みんなで育て、みんなかがやく!			
項目	努力指標(教師側)	達成度	成果指標(こども側)	達成度	評語
1	・学校だより、学年だよりで適時情報発信する。 ・グーグルクラスルーム、スグールを活用して、適切に児童・保護者向けに情報発信する。 ・学校ホームページは毎日更新する。	90	・学校だより、学年だより、グーグルクラスルーム、学校ホームページ等を通して、学校のことが分かるかと回答する児童・保護者を95%以上にする。	90	A
2	・地域行事やPTA行事に児童の参加を促し、積極的にかかわる。 ・外部の人材を活用した授業を年に1回以上行う。	90	・「保護者・地域と協力して教育活動を行っている」と回答する保護者を95%以上にする。	90	A
3	・ICTを活用した家庭学習や情報交換などについて、保護者、地域の協力をお願いする。	90	・学校行事、学習指導計画、家庭学習の内容や方法がわかりやすく説明されたと答える保護者を95%以上とする。	90	A
<p><結果についての分析と改善策></p> <p>1 70周年の年なので、情報発信に心がけてきた。次年度以降も今年度同様に適切な情報を適時発信することで地域保護者に学校の状況を伝えていく。</p> <p>2 PTA・地域行事には管理職だけでなく、教諭にも積極的な参加を呼びかけた。校外の人材を活用した、専門家による授業等を積極的に行ってきた。次年度以降も適切に外部の専門家を招聘して、体験的な学習を充実する。</p>					

【評語】 成果指標(こども側)の達成度に応じて決定する。

A: 90%以上(目標達成とみなし、次年度は新たな目標を設定する)

B: 50%以上90%未満

C: 50%未満(目標や努力指標等を見直す)